

平成28年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

| | |
|-------|--|
| 試験区分 | <ul style="list-style-type: none">■ 一般入試■ 外国人留学生特別入試■ 社会人特別入試 |
| 試験科目名 | <ul style="list-style-type: none">■ 専門試験（ 地域科学 ）□ 共通外国語（ ） |
| 出題の意図 | <p>問1：本設問は，地域社会学分野から2問，社会生態学分野から2問，人文地理学分野から2問を出題しており，各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や，専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問2：本設問は，社会生態学，地域社会学，人文地理学，地誌学などに関する基礎的な専門用語の理解度を確かめ，さらに指定された文字数で専門的な見地から明確に記述する能力を見る。</p> |

平成28年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 地域科学

全1枚

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つ選択して解答せよ。

1. 地域の野生動物を適正に管理するためには、個体数モニタリングにおいてどの程度の厳密性（精度）を求めるべきであろうか。個体数のような不確実性を伴う管理に用いるべき考え方とあわせて論述せよ。
2. 工業の発展について「労働集約」、「資本集約」、「知識集約」の3つの語を用いて説明せよ。
3. 環境保全政策における住民参加（市民参加）の意義と課題について、以下の用語のうち3つ以上を使って論述せよ。

ガバナンス、合意形成、価値、中間支援、持続可能性

4. 社会調査における文献資料調査とフィールドワークの関係について、それぞれの意義や、調査プロセス全体のダイナミズム（動態）を考慮しながら、論述せよ。
5. 日本における農産物生産の地域差の実態を説明せよ。さらに、その地域差が生じた要因を、自然的な条件に注目して説明せよ。
6. 野生生物保護のために行う給餌行為をどう評価すべきか、考えを述べよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. コモンズの悲劇 (G. Hardin) | 11. 環境収容力 |
| 2. ポイントセンサス法 | 12. オープンガバメント |
| 3. 絶滅の渦 | 13. アクティブインタビュー |
| 4. 集合的記憶 | 14. シリコンバレー |
| 5. 土地利用図 | 15. キーストーン資源 |
| 6. グリーンツーリズム | |
| 7. 歴史的環境 | |
| 8. プロダクト・サイクル論 | |
| 9. 都市観光 | |
| 10. スカベンジャー（腐肉食動物） | |